

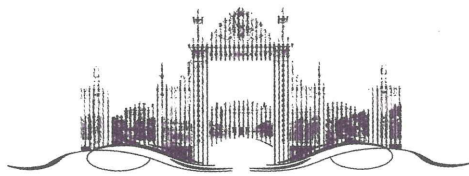


Rotary International
SERVICE Aboue Self

超我の奉仕

2005～2006年度

国際ロータリーテーマ:カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.898/2006.2.17

例会/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテルTel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

●本日の例会/2006年2月17日第919回例会

卓話

「米国のビジネス・スクールで教えて15年」

当クラブ会員

Peace University Graduate School of Business

渡部一元氏

●先週報告/2006年2月10日第918回例会

卓話

「筋肉を知って健康を考える」

千葉大学理学部名誉教授 理学博士 大日方 昂氏

(紹介者 大日方 真会員)



会長報告:①2月7日(火)火曜会に出席いたしました。大変勉強になる良いお話が聞けました。

②新会員の山岡斉君、長谷川尊一君のご紹介

幹事報告:2月24日(金) 16時30分～20時50分全日空ホテルB1ギャラクシーにて「東京赤坂ロータリークラブ改称記念夜間例会」が開催されます。出欠のご返事は、2月17日(金)までに事務局までお願いいたします。

雑誌委員会報告:(四分一委員長)「ロータリーの友」2月号のご紹介

親睦委員会報告:(松永副委員長)

①2月火曜会を2月7日全日空ホテル36F「マンハッタンラウンジ」で開催いたしました。

②3月25日(土) 13時～15時ユナイテッド・シネマとしまえんにて「ナルニア国物語」の映画鑑賞会を実施いたします。ご家族と一緒に楽しみください。

社会奉仕委員会:(高須副委員長)

2月24日の夜間例会でチャリティーバザーを行います。皆様からのご寄贈の品物を有料で販売させていただきます、その収益金を「風の子会」に寄付させていただきます。この主旨にご賛同いただきご協力をよろしくお願いいたします。2月10日・17日の両例会日に限り、寄贈品リストにご記入いただき品物を添えて例会場までご持参願います。

慶事披露:誕生日祝/石川佳路君(2月20日)

出席報告:会員53名/出席29名・欠席24名(出席規定免除者5名) ビジター3名、ゲスト1名

ガバナー月信2月号名称変更・掲載記事抜粋

東京赤坂ロータリークラブ 会長 小杉修造

東京新南ロータリークラブは、本年1月1日付で「東京赤坂ロータリークラブ」に改称いたしました。10月に創立20周年を迎えるのを機に改称し、新たな第一歩を踏み出す事になりましたのでお知らせ申し上げます。なお、例会場・例会日・事務局に変わりはありません。

新会員のご紹介(2006年2月10日入会)



やま おか ひとし
山岡 斉 君

生年月日 1942年8月5日

職業分類 情報処理サービス

事業所名 アイエス情報システム株式会社

役 職 代表取締役社長

所在地 〒104-0044 中央区明石町6-4 ニチレイ明石町ビル
TEL 3248-6300 FAX 3248-6133

Eメール hyamaoka@jp.ibm.com

住 所 〒216-0003 川崎市宮前区有馬9-2-34-708

TEL 044-855-3470

推薦者 大日方 真君、清水 實君



は せ がわ なか いち
長谷川 尊一 君

生年月日 1965年4月10日

職業分類 施設管理サービス

事業所名 三生管財株式会社

役 職 代表取締役社長

所在地 〒160-0001 新宿区片町3番地
TEL 5360-8176 FAX 3357-8936

Eメール takaichi.h@sansay.co.jp

住 所 〒176-0003 練馬区羽沢2-11-16

TEL 6760-6542

推薦者 荒木昭文君、椎名康充君



2月10日/6件13,000円/本年度累計785,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

ジョン/塚田さんご苦勞様です。久しぶりの例会出席です。寒い日が続きますが、皆様、健康に留意して下さい。**鈴木康一/**昨日の表参道のヒルズのレセプションは大変な賑わいでした。**荒木昭文/**①長谷川さんのご入会を祝して
②大日方 昂さん本日の卓話有難うございます。**松永秀和/**立春も過ぎ、だんだん暖かくなりますね。塚田さん、ニコニコと映画会ありがとうございます。竹本孝三郎/塚田さんお忙しい中、ご苦勞様です。塚田哲生/村山さん立派なホームページご苦勞様でした。3/25映画鑑賞会お待ちしております。是非ともご参加下さい。

第2750地区千代田グループ・IM報告

全体テーマ 「ロータリー2世紀を迎えて、足元を固め、新しい一歩を」

日 時 2月2日(木) 15:00~18:00

会 場 交詢社

千代田グループ 東京南RC、東京芝RC、東京新橋RC、
東京みなとRC、東京レインボー RC、
東京麻布RC、東京赤坂RC

当クラブ出席者

第一分科会／小杉、土屋、荒木、松永、馬場、石井

第二分科会／田村(昭)、早川、福島

第三分科会／大日方、庄司、吉田(用)

第1分科会報告『クラブリーダーシッププラン…組織の簡素化と奉仕の効率化を目指して』

第1分科会では『クラブリーダーシッププラン…組織の簡素化と奉仕の効率化を目指して』をテーマに報告と討論が行われた。当赤坂ロータリークラブが昨年9月にクラブ細則を変更してクラブリーダーシッププラン(以下「CLP」と称します)を採択していることもあり、第1分科会の議長を土屋副会長が、レポーターを松永が担当することになった。

まず、土屋議長からCLPが議事テーマになった経緯と本日の議事進行方法についての説明があり、ついで3クラブからスピーカーが順次報告を行った。

新橋RC (飯田次期幹事候補)

千代田グループが集まってCLPについて現状報告を受けた際、各クラブに温度差があると感じている。国際ロータリー本部がCLPを提起したのは「奉仕の実践と品位ある行動」を実践するためにロータリークラブを強化することが必要だからであるが、ロータリー活動は個々のクラブが自主的に行動するのが原則であり、クラブ間で温度差があっても当然である。奉仕活動を順調にこなせる組織で、会員増強に役立っているならばCLPを採用する必要はない。新橋RCでは従来の枠組みでやって行けると考えているが、昨年11月に勉強会をスタートし、今後、理事・役員会や委員会の構成、会員増強や寄付活動を再点検した上で、CLP導入を検討したい。

赤坂RC (荒木次期会長)

昨年CLPを提示されたが、会員数の減少で組織の簡素化を考えていたときであったため、早速理事会で検討に入り、会員に対して説明会を行ったりして周知に努めた。この結果、9月30日に臨時総会を開催し、CLP採用について正式に承認を得た。この後、委員会構成について検討し、素案を作成した。12月には次期役員から原案を承認されたので、今年1月にクラブ協議会で次年度の委員会構成を案内し、7月より実施することとなった。

CLP採用により5常設委員会を設置したが、会員の理解を進めるため、常設委員会の下に小委員会を設けて従来の奉仕活動との関連がわかるようにした。小委員会のメンバーは常設委員会の委員でもあり、また小委員会の委員長が常設委員会の副委員長を務めるなど、人事の効率化な意思決定がスピーディに図れるようになっている。このほか、クラブで最重要点を置いている会員増強委員長に理事を当てるなどクラブの現状と活動目標にあわせた機動的な組織となっている。

麻布RC (澤次期幹事)

麻布ロータリークラブは最も若く、また会員数も27名と最も少ないクラブである。このため、クラブの認知と会員増強を最重要課題としている。最近も麻布消防署と提携してAED(自動体外式除細動器)の使用法を麻布中学で講習した。少人数でこうした奉仕活動を精力的に行っているため、CLPについて検討する時間があまり取れていないが、昨年12月に馬場特別代表から講義を受け、組織の簡素化、奉仕の充実の点で我がク

ラブには効果的であることがわかった。今年に入り、組織試案を作成したり、クラブ協議会で検討したりするなど精力的に取り組んできた。また、活性化案ワーキンググループも含めて検討してきた。1月末に組織案を提示したが、旧委員会の機能は残したまま、新名称に変更して会員増強を図りたいと考えている。3年計画を立てて会員増強を行ってゆきたいと考えている。

このあと、質疑応答に移ったが、導入を決定した赤坂RCに質問が集中した。

南RC (上条会員)

米山奨学委員会が赤坂RCの組織図にはいっていないが、どうしてか。

赤坂RC (荒木)

赤坂RCでは、従来から米山財団委員会を国際奉仕委員会に対応してきた。CLPでの新組織では「ロータリー財団委員会」のなかで対応してゆく予定である。

みなとRC (菊池会員)

CLPは「組織の効率化」を目指したもののだが、図を見ると複雑に見える。

赤坂RC (荒木)

常設委員会と小委員会は二重の組織でない。従来の活動を担当してきた組織を小委員会として常設委員会につけることで理解を得やすくした。いろいろやってゆく中で、将来的には小委員会をなくすこともある。

みなとRC (菊池会員)

意思決定をスピーディーにするため改良した点はあるか。

赤坂RC (荒木)

新組織では小委員会(従来の委員会)を整理統合した。また、各小委員会の委員長は、常設委員会の副委員長を兼務することにした。これらにより、意思決定過程が短くなっている。

麻布RC (清原会員)

理事数に変更はあったのか。

赤坂RC (荒木)

理事数には変更がない。これは、CLP採択以前に次年度の理事を決定していたためである。次々年度では常設委員会に合わせた理事数を検討することになろう。

芝RC (内山会員)

常設委員長は多くの小委員会を統括するが、これでは委員長が多忙になるのではないか。

赤坂RC (荒木)

小委員会の委員長が活動を統括するとともに、常設委員会の副委員長となり常設委員会委員長を補佐するため、常設委員長は多忙にはならない。

この後、土屋議長より指名を受けた馬場研修副リーダーからCLP導入について解説があった。

最後に土屋議長から、本日の議論の総括として

●CLPの対応にはクラブで大きな差がある

●まだ不明な点もあるが、2750地区としても推進する予定であるので、各クラブで議論を深め、試行錯誤を繰り返しながら実施に向けて取り組んでゆくことになろう

～IM報告は次週号に続きます～

●次週予告／2006年2月24日第920回例会

東京赤坂ロータリークラブ改称記念夜間例会

16:00～ 登録開始

(1部) 16:30～17:30 チャリティバザー

(2部) 18:00～20:50 東京赤坂ロータリークラブ改称記念夜間例会
記念コンサート

「デュエット赤坂／ジョン・チャヌコンサート」

会場／東京全日空ホテル B1 ギャラクシー